

事務事業実施状況及び経営状況 評価シート（令和3年度分）

団体名	公益財団法人静岡市スポーツ協会	所管課	スポーツ振興課
基本理念	静岡市スポーツ推進計画に基づき、市民の健康・体力づくりの推進に関する事業を、市とともに推進し、スポーツを通じた豊かな社会の実現を目指す。		

《経営計画書 取組状況》

1 事業面における取組状況等

項目	評価指標		H29	H30	R1	R2	R3	R4
①スポーツイベント、教室等開催事業 市民の生涯にわたる健康・体力づくりのため、様々な世代を対象にライフステージに応じたスポーツイベント・教室等を提供します。 関係課：スポーツ振興課	イベント、教室等の参加者数	目標	—	—	3,800人	3,510人	3,530人	3,560人
		実績	3,506人	1,678人	3,225人	346人	298人	
		進捗状況	—	—	未達成	未達成	未達成	
	参加者満足度	目標	—	—	87.5%	89.0%	90.5%	92.0%
		実績	87.3%	91.8%	97.4%	95.9%	100.0%	
		進捗状況	—	—	達成	達成	達成	
	チラシ等広報物設置場所件数	目標	—	—	870件	880件	890件	900件
		実績	788件	896件	1,108件	685件	803件	
		進捗状況	—	—	達成	未達成	ほぼ達成	
	スポーツ指導者派遣件数	目標	—	—	18件	20件	22件	25件
		実績	13件	32件	21件	17件	20件	
		進捗状況	—	—	達成	未達成	ほぼ達成	
	ウェブサイト（イベント、教室）アクセス数	目標	—	—	335,000PV	345,000PV	355,000PV	365,000PV
		実績	334,641PV	345,443PV	354,699PV	317,932PV	351,487PV	
		進捗状況	—	—	達成	ほぼ達成	ほぼ達成	
取組状況達成に向けた課題等	令和3年度も新型コロナ感染拡大防止のため、市と共催の「市民ラジオ体操祭」や「市民継走大会」などの大規模イベントが中止となった。実施したイベントも、規模の縮小や参加人数の制限などをしており、参加者数は目標値を大きく下回った。その中でも参加者満足度は100%という最高の結果を出すことができた。また、「Sport in Life」の普及啓発のため、広報活動は縮小することなく実施した。今後はデジタルサイネージなど新たな周知方法の導入を検討する。 スポーツ指導者の派遣件数は23件の依頼があったが、感染拡大防止のためキャンセルがあり、目標に達することができなかった。引き続き市の他部局や他団体との連携を図り、スポーツ指導者を活かした事業を展開していきたい。							
関係課意見	新型コロナウイルス感染症の影響により「イベント、教室等の参加者数」は目標を大きく下回り未達成となったが、その他の指標は達成あるいはほぼ達成となった。特に参加者満足度は100%であり、事業の内容及び職員の対応が高い水準であったことがわかる。 「スポーツ指導者派遣件数」について、派遣を実施した施設と他の施設のつながりや参加者のつながりで新規依頼に結びついており、引き続き協会のスポーツ指導者を活かした健康増進施策や生涯学習施策への貢献を期待する。 また、「ウェブサイトアクセス数」増加のために、機能追加や各種チラシ等への二次元バーコード掲載など様々な工夫をしている。今後も継続して情報発信に力を入れていきたい。							

項目	評価指標		H29	H30	R1	R2	R3	R4	
2	②トップアスリート育成支援及びスポーツ指導者養成事業	目標	—	—	11件	11件	12件	12件	
		実績	11件	12件	13件	6件	8件		
		進捗状況	—	—	達成	未達成	未達成		
	ジュニア層及びトップアスリートの育成、指導者の養成等のスポーツ活動を支援します。	目標	—	—	45人/84%	50人/85%	55人/86%	60人/87%	
		実績	37人/83.4%	67人/79.3%	34人/92.3%	69人/96.8%	52人/98.9%		
		進捗状況	—	—	未達成/達成	達成	ほぼ達成/達成		
	関係課:スポーツ振興課	目標	—	—	9000部/260件	9500部/280件	9500部/290件	10000部/300件	
		実績	9000部/250件	9000部/255件	9000部/257件	10000部/349件	10000部/344件		
		進捗状況	—	—	達成/ほぼ達成	達成	達成		
	取組状況 達成に向けた課題等	<p>加盟団体が実施する大会等の事業も新型コロナの影響を受け続けている。当協会が支援しているジュニア層育成事業においても、昨年よりは件数が増えたものの、中止や規模縮小を余儀なくされた。ジュニア層育成は、競技底辺拡大やトップアスリート育成に通じる重要な事業であるため、可能な限り実施できるよう、加盟団体と連絡を密にしている。</p> <p>指導者講習会は、感染対策を講じて予定通り実施することができ、受講者数も目標をほぼ達成し、満足度も高い評価を得られたのでこれを継続していきたい。また、広報誌の発行部数件数も目標を達成している。法人名称変更を好機と捉え、協会自体の認知度向上に努める。</p>							
	関係課意見	<p>ジュニア層育成事業について、加盟団体の事業自体が中止になったことで目標未達成となっているため、新型コロナ対策を講じたうえで実施できるよう、加盟団体との協力を期待する。</p> <p>指導者講習会について、受講者数はほぼ達成、満足度は達成となっている。過年度の実績をみても需要があると思われるので、内容については受講者の要望や感想を反映しつつ継続してもらいたい。</p> <p>広報紙発行部数及び設置場所件数ともに目標を大きく上回っている。指標の効果として協会の認知度向上が得られたかどうか、引き続きアンケート調査等で検証して欲しい。</p>							
	項目	評価指標		H29	H30	R1	R2	R3	R4
③スポーツ施設における利用者サービス向上事業	施設利用者数 (単位:人)	目標	—	—	1,473,700	1,485,200	1,500,000	1,515,000	
		実績	1,158,249	1,106,093	1,115,937	748,521	893,894		
		進捗状況	—	—	未達成	未達成	未達成		
	施設稼働率 体育館グループ (アリーナ)	目標	—	—	93.0%	93.0%	93.5%	93.5%	
		実績	93.1%	92.9%	91.6%	90.0%	89.7%		
		進捗状況	—	—	ほぼ達成	ほぼ達成	ほぼ達成		
	施設稼働率 西ヶ谷総合運動場 (陸・プ・野・テ)	目標	—	—	76.0%	77.0%	77.0%	77.5%	
		実績	69.5%	71.6%	70.4%	67.5%	65.3%		
		進捗状況	—	—	ほぼ達成	未達成	未達成		
	施設稼働率 清水総合運動場 (体・陸・武)	目標	—	—	83.5%	83.5%	83.5%	84.0%	
		実績	83.7%	85.1%	85.7%	83.2%	82.7%		
		進捗状況	—	—	達成	ほぼ達成	ほぼ達成		
	利用者満足度	目標	—	—	93.0%	93.0%	93.2%	93.5%	
		実績	93.0%	96.0%	98.0%	98.0%	97.0%		
		進捗状況	—	—	達成	達成	達成		
効果的効率的な施設の管理運営により、市民がスポーツに親しみやすい安全・安心・快適なスポーツの場を提供するとともに、市民の体力を向上させる機会を提供します。	関係課:スポーツ振興課								

管理者の責めによる 事故発生件数	目標	—	—	0件	0件	0件	0件
	実績	0件	0件	0件	0件	1件	
	進捗 状況	—	—	達成	達成	未達成	
管理運営に関する職員対応等の 意見 要望件数	目標	—	—	106件以下	104件以下	102件以下	100件以下
	実績	108件	111件	79件	50件	39件	
	進捗 状況	—	—	達成	達成	達成	
ウェブサイト (スポーツ施設) アクセス数	目標	—	—	644,000PV	663,000PV	682,000PV	701,000PV
	実績	643,551PV	711,861PV	759,086PV	625,905PV	676,275PV	
	進捗 状況	—	—	達成	ほぼ達成	ほぼ達成	
教室等の 延べ参加者数 (単位:人)	目標	—	—	260,000	262,600	265,200	267,800
	実績	252,068	289,975	287,890	110,631	158,248	
	進捗 状況	—	—	達成	未達成	未達成	
R&R交流スペース 来館者数 (単位:人)	目標	—	—	25,000	26,250	27,500	28,750
	実績	—	23,697	21,291	12,109	20,663	
	進捗 状況	—	—	未達成	未達成	未達成	
R&Rイベントによる 利用件数	目標	—	—	13件	14件	15件	16件
	実績	—	21件	22件	18件	23件	
	進捗 状況	—	—	達成	達成	達成	

取組状況
達成に向けた課題等

管理施設については令和2年度ほどではないものの8月から9月までの夜間時短営業やスポーツ大会の中止などにより、利用者数はコロナ禍前には戻っていない。稼働率は、大会等が中止になり一般利用可能となった施設について、協会公式twitterなどで周知し利用を促した。また、短期教室(自主事業)を開催することで、稼働率アップに努めた。

利用者満足度については、毎年高評価を得ており、職員のモチベーションアップにも繋がっている。今後も満足度を低下させることなく、効率的な事業展開をしていく。

管理者の責めによる事故が1件発生した。拾得物の処理ミスによるもので、速やかに原因を究明し、対応策を講じた。

教室の参加者数は、令和2年度からは約5割増加したが、コロナ禍前とは程遠い状況である。参加者数減は、定員制限などの見える理由のほか、コロナ禍への不安や運動の継続性が途切れてしまったことによるスポーツ意欲の低下も一つの理由だと推察する。このマインドをいかに戻していくかが当協会の喫緊の課題だと認識している。ニーズが多様化し、スポーツの考え方も変化する中、これらに対応したプログラムの提供や環境づくりに努め、「Sport in Life」が進める軽運動も含め、市民のスポーツ実施率向上に繋げていく。

R&Rの交流スペース来館者数は目標には達していないが、カフェとして利用する市民が増えてきておりコロナ禍前の状況に近づいている。しかし、更衣室の利用はコロナ禍前の3分の2程度である。また、R&Rを起点とするイベントについては、定着しているものは継続し、今後新たなイベント実施に努めていく。

関係課意見

利用者数及び教室等の参加者数については、新型コロナの影響により目標未達成となっている。一方、稼働率については、空き状況の情報発信や短期教室の開催などの工夫により、微減に留まっている。

また、施設利用者満足度は97%と非常に高い実績となっており、施設の維持管理状況及び職員の対応について高く評価できる。

管理者の責めによる事故が1件発生してしまった。経緯と対応について他の施設にも共有し、再発防止に努めてほしい。

ウェブサイトアクセス数はほぼ目標達成している。コロナ禍での「新しい生活様式」への対応という点でも、インターネットを活用した情報発信や事業実施への展開を期待する。

R&Rの利用について、イベント利用件数は増加しているが、来館者数は未達成となっている。オープンから3年以上が経過しているが、引き続き施設の認知度向上に努め、駿府城跡周辺の賑わい創出の一助となってほしい。

2 経営面における取組状況(組織・人材・財政面等)

項目	評価指標		H29	H30	R1	R2	R3	R4
1	収益事業の 収支差額	目標	—	—	2,000,000円	2,400,000円	2,800,000円	3,200,000円
		実績	-240,511円	1,760,859円	-958,034円	-4,025,859円	-3,007,275円	
		進捗 状況	—	—	未達成	未達成	未達成	
	賛助会費収入額	目標	—	—	550,000円	600,000円	650,000円	700,000円
		実績	—	464,000円	679,000円	751,000円	820,000円	
		進捗 状況	—	—	達成	達成	達成	
	旅行業務取扱件 数	目標	—	—	2件	4件	7件	10件
		実績	—	0件	4件	3件	1件	
		進捗 状況	—	—	達成	未達成	未達成	
取組状況 達成に向けた課題等	<p>収益事業の収支差額が今年度も赤字になった。事業全般に係る人件費などの固定費用が生じるため、費用以上の売上収入が必要である。しかしながら、施設来場者減少や大会の中止に伴い、弁当斡旋を含む売店商品売上や氷菓等自動販売機手数料の収入が減少した。また、旅行業務がほとんど実施できなかったこともあり、収益事業全体として収入が伸び悩んだ。</p> <p>また、令和2年度末に策定した定員管理計画については、実配置人数と市が想定している配置人数に乖離が見られるため、その原因分析を行った上で、計画の再構築が必要だと考えている。</p>							
所管課意見	<p>収益事業及び旅行業務について、新型コロナの影響が大きく未達成となった。今後も大幅な収入増は難しいと思われるので、経費節減及び新しい収益事業の検討・導入に努めてほしい。</p> <p>賛助会費収入額については、目標値を大きく上回り、昨年度と比較しても大幅にアップしており、営業努力がうかがえる。</p> <p>指定管理施設に配置している人数について、実配置人数と市の想定との乖離が見られるため、必要に応じて定員管理計画の見直しをお願いしたい。</p>							

3 団体の経営状況の総括

令和3年度も新型コロナの影響を受け、多くの事業が中止や縮小を余儀なくされた。市による指定管理料の精算があったが、公益目的事業会計の収支は約1,650万円、収益事業会計は約300万円、法人会計は約650万円の赤字となり、法人全体で約2,600万円の赤字決算となった。なお、公益法人に求められる財務3基準(収支相償・公益目的事業比率・遊休財産額)については、いずれも法に基づき適合している。

指定管理料の精算があっても赤字決算であることについては、収支体系を分析し、その要因を明らかにし、対応策を講じていかなければならない。また、指定管理料の精算基準では、利用料金や教室受講料の収入見込みがコロナ前の水準に設定されているが、施設利用者数や教室受講生数をコロナ禍前の水準に戻すことは容易なことでは無いため、役員及び全職員がこの危機感を共有して事業を推進していく。

4 今後の方針／新たな課題 など

法人の名称変更を機に広報活動の強化を図る。あわせて、市企画課が実施するSDGs宣言やSport in Lifeの啓発など、対外的にもスポーツ協会のアピールを強化する。

市担当課以外の関係課、また民間企業を含めた各種団体などと連携をした事業(例:スポーツ×α)を行うことで、事業の幅が広がり、これまでターゲットとしていなかった市民にもスポーツに触れてもらえると考えており、積極的に連携事業を実施していく。

なお、旅行業務については、民間旅行業者が苦境に立たされている中、企画旅行の収益化は厳しいと判断し、令和4年度からは企画旅行は行わず、手配旅行のみを取り扱うことにする。

今後、燃料費高騰に伴う管理施設の光熱水料費増加は確実であり、財務状況の悪化が懸念される。

※経営計画書の見直しが必要な場合には、その理由とともにその旨記載してください。

5 市への要望・意見

4に記した、光熱水料費の増加について、指定管理料の精算を実施していただきたい。

6 パートナーとしての市の取組(所管課記載)

スポーツの推進による健康で豊かな生活の実現のため、市は(公財)静岡市スポーツ協会を「市民一人1スポーツ」を推進するためのパートナーである、と静岡市スポーツ推進計画(平成27年3月策定、平成31年3月改訂)に位置づけた。「第2期静岡市スポーツ推進計画」(2023～2030年)策定にあたって、静岡市のスポーツ施策を具現化する団体として、積極的に関わってもらいたい。

また、各種競技種目の競技力向上に関する事業、スポーツ指導者の養成に関する事業等について、静岡市スポーツ協会事業補助金を支出した。

スポーツ協会の事業委員会、調査広報委員会等の専門委員会にスポーツ振興課職員が委嘱を受けて委員として参加し、意見している。

アセットマネジメントの視点に立ち、スポーツ施設の長期的な修繕計画を作成し、適宜施設修繕を実施した。

令和4年度には、外郭団体協働研修を実施し、人事交流を行うことで、相互の人材育成及び連携体制の強化につなげていく。

7 所管課による総合評価・意見(所管課記載)

昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受け、多くの指標において目標未達成となった。一方で満足度に係る指標はすべて目標達成し、数値も97%以上と高い満足度を達成している点は高く評価できる。引き続き市民ニーズを反映した事業展開と、利用者に配慮した対応を心掛けていただきたい。

経営の健全性では、指定管理料の精算を受けてもなお大幅な赤字となった。これについては協会職員が危機感を共有して取り組むということだが、財務分析を行い、改善策の検討や黒字化へのロードマップ作成を実施してほしい。

市との連携について、スポーツ施策だけでなく、健康増進施策や生涯学習施策との連携も今後より一層推進していただきたい分野である。なお、スポーツ以外の分野との連携は第2期スポーツ推進計画において基本施策の一つとなる予定である。今後、積極的に連携事業を実施していく方針とのことで、市のパートナーとしての協会の取り組みに期待する。